

LABONCH 01

# メカニカル リアル

たかくらかずき

二〇二三年二月二十八日(火)～三月二十六日(日)

主催・会場：山梨県立美術館

ギャラリー・エコー(美術館エントランス、芸術の森公園)

オンライン：(美術館エよりアクセス)

開館時間：九時～十七時(入館は十六時半まで)

休館日：三月六～十三日、二十日

観覧料：無料



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館  
Yamanashi Prefectural Museum of Art



# Real mecha X たかくらかずき

まずは大喜びでAI画像生成を試すんじゃないだろうか。」「きっと過去のシュルレアリストたちが現代のテクノロジーを目的にしたら、

たかくらかずき  
1987年、山梨県市川三郷町出身。  
東京造形大学大学院修士課程修了。京都芸術大学非常勤講師。  
現代美術としてのデジタルデータの新たな価値追求をテーマとしている。  
NETマークアップレイスOpenSeaにおいて「ETHシリーズ「BUDDHA VERS」を展覧中。演劇集団「範由遊泳」アートディレクター。山梨県市川三郷町ふるさと大使。

本展は、館内空間、芸術の森公園、そして仮想空間を舞台に、山梨県出身の作家たかくらかずきの作品世界を展覧する企画です。タイトルとして付された「メカリアル」は、シュルレアリスム（超現実主義）が日本に上陸した際の「機械主義」と呼ばれる傾向に着目した、たかくらによる造語です。本展の制作にあたり、たかくらの出発点となったのは、日本におけるシュルレアリスムの展開の黎明期より活躍した山梨県出身の画家、米倉壽仁（1905-1994）の作品鑑賞でした。

たかくらは、日本で広く共有される信仰の中に息づく「存在を感じるが触れることのできない、向こう側のものたち」を「デジタル上の存在」に極めて近いものと捉え、AIによる画像生成、ピクセルアニメーション、3Dプリント、VR（仮想現実）、NFTといったデジタル技術を用いて表現する作家です。米倉が晩年に取り組んだ、東洋思想、仏教、土着の信仰とシュルレアリスムを融合させ、現実世界を凌駕するようなイメージを生み出す探求に、たかくらは自身の制作活動との重なりを見出しました。

本展でたかくらは、機械と自然、メタバースと現実世界、AIと人間、合理と不合理といった、2つの異なる世界の和合を試みます。たかくらと米倉、2人の山梨県出身作家の共鳴から生まれる新しいイメージを、館内空間、芸術の森公園、そして仮想空間でご鑑賞ください。

※会期中、館内美術図書室で、VRゴーグルを用いた仮想空間体験をお楽しみいただけます。

## 関連イベント

### ① NFT道祖神巡り

会期中、館内、芸術の森公園内に展示される道祖神をモチーフにした立体作品を巡って、作品付近のQRコードにアクセスしてみよう。一か所あたり先着1000名様に、NFT付きデジタル作品をプレゼント！  
※参加無料。詳細は、会期中、館HPと展覧会場でお知らせいたします。

### ② 座談会

「メカリアル」、シュルレアリスム、現代

「メカリアル」展の制作意図を解きほぐし、作家・作品の世界に迫ります。

- 登壇者：たかくらかずき氏（美術作家）、長谷川新氏（インディペンデントキュレーター）、小坂井玲、森川もなみ（当館学芸員）
- 日時：3月18日（土）13:30～15:00頃
- 定員：50名程度を予定（先着順）
- 場所：ワークショップ室 ※申込不要、聴講無料。

### ③ 座談会

メタバース、NFTと美術館

インターネットの新しいあり方と共に語られるメタバース、NFTが美術館にもたらす可能性について、探索的なトークセッションを行います。

- 登壇者：たかくらかずき氏（美術作家）、小田雄太氏（COMPOUND inc.）、井倉北斗氏（Psychic VR Lab.）小坂井玲（当館学芸員）
- 日時：3月19日（日）14:00～15:30頃
- 定員：50名程度を予定（先着順）
- 場所：講堂 ※申込不要、聴講無料。

### ④ ワークショップ

ドット絵でカミを描こう！メタバースに展示しよう！

身近な自然や事物には、カミサマが宿っている？  
あなただけの「カミサマ」を描き、仮想空間に展示してみよう。

- 講師：たかくらかずき氏（美術作家）、小田雄太氏（COMPOUND inc.）
- 日時：3月18日（土）、3月19日（日）10:00～11:30
- 定員：5組10名
- 対象：小学校低学年以上の子どもとその家族  
（※両日通って参加いただける方）
- 場所：ワークショップ室 ※参加無料。

## ワークショップ申込

- 申込方法：お電話でお申し込みください。（055-228-3322）
- 申込期間：2月21日（火）午前9:00～（定員になり次第締め切り）



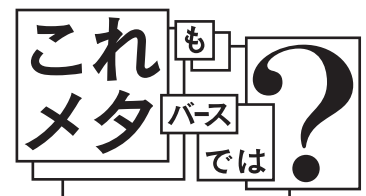
山梨県立美術館は新たな活動をはじめます。

仮説を立て、実践し、そこから生まれる視点と共有することで、美術館の可能性を模索する。

このような企画シリーズを、高い山々に囲まれる甲府盆地に位置する美術館の中の実験室をイメージして、LABONCHI（ラボ+盆地）と名付けました。

第1弾として、新しい時代のインターネットのあり方と共に話題になるメタバース、NFTについて、展示活動への活用を模索して、たかくらかずき「メカリアル」展を開催いたします。また、本分野についての教育普及活動として、「これもメタバースでは？」展を開催いたします。

## 関連企画展示



メタバースとは、一体どんなものなのでしょうか。昨今、メタバースとして広く認識されているバーチャルSNSだけではなく、日常に潜む「これもメタバースでは？」と呼べる事象を紹介することをとおして、「メタバースとは何か」を考えるヒントを提示します。本展は、美術図書室のパネル展示を入り口として、メタバース空間内で展示を行います。

企画編集協力：吉田山、原ちけい

## ACCESS



### 【アクセス】

- JR中央本線甲府駅より
- 甲府駅バスターミナル（南口）1番乗り場より御勤使（みだい）
- 竜王駅経由で数島営業所・大草経由で基崎駅・貫（く）川（が）わ
- 団地各行ききのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。
- タクシーで約15分。

中央自動車道甲府昭和インターチェンジより  
●料金を昇仙峡・湯村方面へ出て200m先を左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貫川交番前交差点を左折、国道52号を約1km、左側。

〒400-0065 山梨県甲府市貫川1-4-27  
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

主催：山梨県立美術館

企画デザイン協力、VI制作：小田雄太（COMPOUND inc.）

協力：STYLTY

VR空間制作協力：haquxx